

補助事業成果報告書

法人番号	231001	法人名	愛知学院	学校名	愛知学院大学
内定番号	—	補助項目名	在外研究		
教育研究課題名	外国語としての韓国語教育の現状についての実地調査および教授法				

1、補助事業の取組状況（500字以内）

外国語としての「韓国語教育」の全般的な実施状況について把握するために東国大学の外国語教育センターでの教育の現状と実地調査を行った。その中で、本研究のテーマである「第2外国語としての韓国語教育の位相と現況」および「韓国語学習における受講者の選択動機や目的、その利用方法・手段」についての資料収集・調査を行った。この調査をもとにした研究については今後の学会発表ならび論文執筆を目指す。また、韓国での韓国語教育関連の各学会に参加し、現在行われている「韓国語教育研究の動向」についても現状把握と資料分析を行った。

さらに、その学会活動の中で韓国語教育に従事している多くの教育研究者とも意見交換会を持つことができ、韓国国内での「韓国語教員資格取得」の必要性とその問題点についても知ることができた。それをきっかけに外国語としての韓国語教育の「現地化教育」と「個別化教育」に対する新しい観点に着目し、第10回日本韓国語教育学会国際学術大会で「日本における韓国語教員資格取得の必要性と提言」（11月9日、東京）をテーマにして学術発表を行った。

次に、韓国語学習者に対して今日の実情に合った韓国の歴史・社会・文化を理解しやすいテキストの製作のための資料収集や現地調査などを行った。さらに韓国現地の共同執筆者との研究会を開催し、執筆の分担および執筆活動の計画を立てた。

2、補助事業の成果（500字以内）

①韓国ソウル漢陽大学校日本学国際比較研究所で行われた「韓国語と日本語の研究方法与教育」を主題にした国際学術シンポジウムにパネリストとして参加し、「同胞児童を対象にした短期韓国語教育プログラムの設計と運営」（2019年6月15日）について討論を行った。

②第10回日本韓国語教育学会国際学術大会で「日本における韓国語教員資格取得の必要性と提言」（2019年11月9日、東京駐日韓国文化院）をテーマにし、学術発表を行った。

③韓国語学習者を対象にして実施した韓国語学習の動機や到達目標、利用手段と方法の調査アンケートをもとにして、「日本の大学における教養科目としての「韓国語学習」－「中級クラス」受講者のアンケート調査結果をもとに－」の論文を『教養部紀要』（第67巻第1・2合併号、2019）（pp. 25-pp. 44）に掲載した。

④「일본 내 한국어교육의 질적 발전 연구(日本国内の韓国語教育の質的な発展研究)」(『日本近代学術研究』、韓国日本近代学会)第68輯2020年5月(pp.35-pp.54)に掲載した。

所属	職名	氏名	内線番号
教養部	准教授	文 嬉眞	